

スマート農業の実現

平成25年11月26日

農林水産省

スマート農業のコンセプト（案）

スマート農業とは、先端技術を活用したイノベーションにより「超省力」「快適作業」「精密・高品質」を実現する新時代の農業。

課題

担い手への農地集積が進展していく中で、更なる大規模化に対応しなければならない

農業機械の自動走行や果菜類の収穫ロボット等による手作業の機械化により、**従来にない超省力・大規模生産を実現**



トラクタの自動走行による規模限界の打破

課題

危険できつい作業を減らして、いつまでも元気に農業を続けられるようにしなければならない

どうしても手作業に頼らざるを得ない作業をアシストスーツ等により**軽労化**するほか、除草や水管理などの負担の大きな管理作業を自動化するなど**身近な作業を快適・効率化**

アシストスーツにより同じ姿勢を長時間続ける作業負担を軽減



課題

急速に失われていく熟練農業者のノウハウを引き継いで、若い世代が農業で儲けられるようにしなければならない

熟練農業者の匠の技を形式知化し、ノウハウの継承・保護を可能とするとともに、**誰もが安心して取り組める農業を実現**



篤農家の技術を形式知化することで若者を効率的に育成

課題

土壌条件等のバラツキを把握できておらず、農地を最大限活用できていない

センシング技術や過去の生産データの活用等データを基にしたきめ細かな栽培管理（精密農業）により、**高品質・安定生産を実現**

収量センサと可変施肥機を組合せて土壌環境を最適化

